

令和4年度第1回 妙高山・火打山地域入域料部会

日 時：令和4年4月22日（金）

午後3時00分から

会 場：妙高市役所3階303会議室

1. 開 会

2. 部会長あいさつ

3. 報告事項

(1) 令和3年度 入域料事業報告について

(2) 令和3年度 入域料特別会計決算報告について

4. 審議事項

(1) 令和4年度 入域料事業計画（案）について

(2) 令和4年度 入域料特別会計予算（案）について

(3) その他

5. 閉 会

令和3年度 入域料事業報告

1 実施内容

(1) 收受個所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口 ④事前決済

(2) 收受期間

令和3年7月1日(木)から10月31日(日)まで

(3) 收受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日及びお盆期間の午前5時から10時までは収受員を配置
- ・上記以外の時間は、協力金箱による收受

②燕温泉登山口

- ・終日協力金箱による收受
- ・地元事業所に管理委託(現地掲示物管理及び協力者記念品配付)

③新赤倉登山口(R3.8.7~R3.10.31)

- ・終日協力金箱による收受
- ・スカイケーブル乗り場に設置

④インターネットを利用した事前決済(R3.7.14~R3.10.31)

- ・ヤママップウェブサイトから入金

(4) 金額

500円(任意) 令和3年度收受額 4,223,199円

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

決算額: 1,430,825円

受託者: 一般財団法人上越環境科学センター

箇所: ライチョウ平

内容: ①センサーカメラ調査(7~11月)

②環境改善事業(イネ科等植物の除去)

③ライチョウ捕食者に係る糞調査(笹ヶ峰登山口~影火打)

④ベニヒカゲ等高山蝶の出現状況調査

⑤捕食者対策(高谷池ヒュッテ施設内におけるわなの設置)

(2) 登山道整備事業

妙高山・火打山地域における登山道整備事業

決算額: 1,283,700円(未執行額596,300円は令和4年度へ繰越)

受託者: 一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント

箇所: 妙高山登山道(大谷ヒュッテ~天狗堂 約500m)

内容: 近自然工法による登山道整備 11日間 延べ44人工

3 その他

(1) 入域料協力者への観光施設等での割引特典

- ・妙高ツーリズムマネジメントが作成した地域内クーポンと特典内容が重複していることから、当該クーポンを現地に設置した。

(2) 入域料事業の広報

- ・令和3年度から着手した入域料の事前決済と合わせ、ヤママップのウェブサイトに入域料の記事を掲載することにより、ヤママップアプリを使用する登山者に広報を行った。

(3) 山岳用携帯トイレブースの普及啓発

- ・環境会議では山岳用携帯トイレの普及促進のため、山岳用携帯トイレの作成販売及び使用済み携帯トイレの回収を行った。登山道における携帯トイレブースは、登山道を維持管理する市観光商工課により設置された。

【火打山】継続

- ・携帯トイレブース : オオシラビソ林
- ・携帯トイレ回収ボックス : 登山口
- ・携帯トイレ販売 : 登山口自動販売機

【妙高山】新規

- ・携帯トイレブース : 天狗堂
- ・携帯トイレ回収ボックス : 登山口入り口
- ・携帯トイレ販売 : 大日屋売店

<令和3年度 ライチョウ保護対策事業 概要>

○妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

【目 的】

火打山山頂周辺に生息するニホンライチョウは、30羽弱の特異な個体群であり急激な環境変化による絶滅が危惧されている。

平成28年度から4年間実施したイネ科等植物除去の実験の結果、ニホンライチョウのエサとなる主要な植物の開花・結実（株）数及び開花・結実した種数の増加にイネ科等植物の除去が一定の効果があることが示唆された。

これを受けて、かつてライチョウの生息地であったライチョウ平において、ライチョウが生息できる環境を復元するため実施するものである。

【期 間】

令和3年7月21日から令和4年1月31日まで

【業務場所】

火打山周辺

【調査内容】

①センサーカメラ調査

《場 所》

- ・ライチョウ平試験区

《期間等》

- ・7月下旬から10月下旬にかけて6台のカメラの設置

《結 果》

- ・キツネの親子と考えられる映像が確認されたことから、ライチョウ平で繁殖した可能性が高く、来年度以降も繁殖を行った場合、ライチョウの捕食が懸念される。
- ・8月にライチョウの親子が確認されていることから、今後ライチョウ平での生息増加が期待される。

②環境改善事業（イネ科等植物除去）

《場 所》

- ・ライチョウ平に40m×50mの事業区の設置

《期 間》

- ・環境改善事業 8月26日から28日まで

《結 果》

- ・3日間延べ46人によるイネ科除去作業（除去量163.2kg）
- ・除去により、矮性低木（アオノツガザクラ等）の範囲が明確になった。
- ・ミヤマハンノキの除去作業（17本）
- ・来年度以降の雪田植生の構成種を中心とした植物の回復が期待される。

③ライチョウ捕食者に係る糞調査（笹ヶ峰登山口～影火打）

《場 所》

- ・ 笹ヶ峰登山口～火打山、影火打への登山道左右1 m計2 mの範囲

《期 間》

- ・ 令和3年7月29、30日、10月27、28日

《結 果》

- ・ テン、キツネ、ニホンザル、ノウサギ、ハクビシンなどの糞が確認された。
- ・ 過去には種不明の鳥類の羽が糞中に確認されたが、今年度はなかった。
- ・ ライチョウ保全のためには、周辺地域に生息する他の生物についても広く動向を把握する必要がある、ライチョウと同じく減少が懸念されるオコジョなどの生息を確認するとともに、侵入が懸念されるニホンイタチやミンクの動向を把握するためにも継続して調査する必要がある。

④ベニヒカゲ等高山蝶の出現状況調査

《場 所》

- ・ ルートセンサス調査 高谷池ヒュッテ～火打山山頂
- ・ 定点調査 ライチョウ平事業、山頂直下事業区

《日 時》

- ・ ルートセンサス調査 令和3年8月5日、6日
- ・ 定点調査 令和3年8月6日

《結 果》

- ・ 4科12種の蝶が確認された。
- ・ 高山蝶の確認はベニヒカゲのみであった。
- ・ 高山帯における蝶の生息状況の基礎資料として始めた調査であり、今後幼虫の植生も含めて資料を蓄積しながら継続する必要がある。

⑤捕食者対策

《場 所》

- ・ 高谷池ヒュッテ

《結 果》

- ・ 11月に高谷池ヒュッテに筒わなを設置した。
- ・ 筒わなの回収は、年度をまたぐことから、本件委託は設置までとした。
- ・ 4月に現地確認した結果、わなには何もかかっていなかったが、今後わな近くに設置したセンサーカメラの検証を行う。

令和3年度 入域料特別会計決算報告

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	72,000	72,000	0	市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	3,500,000	4,223,199	723,199	入域料
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	3,379,291	3,379,291	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	100,709	34,830	△65,879	携帯トイレ売上、預金利息等
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,000	118,237	△1,763	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	2 事務費	150,000	768	△149,232	消耗品等
	3 広告費	3 広告費	200,000	112,035	△87,965	告知チラシ
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,606,000	4,035,589	△570,411	ライチョウ保護対策事業 1,430,825
						登山道整備事業 1,283,700
						収受員賃金 363,168
						燕管理費 54,258
						新赤倉管理費 0
						協力者記念品 897,556
						携帯トイレ購入費 0
	事前決済手数料 6,082					
2 繰越事業費	1 繰越事業費	1,900,000	3,442,691	1,542,691		
3 予備費	1 予備費	1 予備費	76,000	0	△76,000	
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

令和4年度 入域料事業計画（案）

1 実施内容

(1) 収受個所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口 ④事前決済

(2) 収受期間

令和4年7月1日（金）から10月31日（月）まで

(3) 収受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日及び繁忙期は午前5時から午前10時までは収受員を配置
- ・上記以外の時間は、協力金箱による収受

②燕温泉登山口、③新赤倉登山口

- ・終日協力金箱による収受
- ・地元事業所に管理委託（現地掲示物管理及び協力者記念品配付）

④インターネットを利用した事前決済（R3年度からの継続）

- ・ヤママップウェブサイトから入金

(4) 金額

500円（任意）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

予算額：1,500,000円

（令和3年度事業執行残額：69,175円も充当）

箇所：ライチョウ平

内容：環境改善事業

- ・イネ科除去作業
- ・令和2年度実施地におけるモニタリング

(2) 登山道整備事業

妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：2,000,000円

（令和3年度事業執行残額：596,300円も充当）

箇所：妙高山登山道（天狗堂～光善寺池 約500m）

内容：近自然工法による登山道整備

3 その他

- (1) 妙高ツーリズムマネジメントとの連携により、入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕登山口での販売、周知）

国立公園 妙高 自然と自然になれる。妙高。 Myoko Trekking Map 妙高トレッキングマップ

- 登山道
- 遊歩道(5~11月)
- 遊歩道(緊急時・必要に応じ)

○近自然工法による整備 R4年度事業実施箇所

○近自然工法による整備 R3年度事業実施箇所

笹ヶ峰で見られる主な山野草
春 ミズバショウ ニリンソウ カタクリ リュウキンカ キクザキイチゴ エンレイソウ オオヤマモダマキ ヨメアサガサ(ヤブタバコ)
夏 オトカラコト トモエソウ カリネソウ ハンゴンソウ トリアシショウマ シキンカラマツ コウリンカ
秋 ヤマトリカブト ナンブアザミ アキノキリンソウ サラシナショウマ チンニンソウ エリソウ ヨメバシロウ オオシロヒゲソウ

夢見平で見られる主な山野草
春 ミズバショウ ニリンソウ キクザキイチゴ カタクリ エンレイソウ スミシロイソギン コシノカクアザミ ツバキモト トキワイカシソウ
夏 キオン ハンゴンソウ ショウキラン ミヤマバイケイソウ キンコウカ クルマノツバキソウ イワウソウ オオウバユリ キンリョウソウ メタカラコト ヤナギラン アケボノソウ シロツバシラン ヒメアザミ
秋 サラシナショウマ チョウジキク タイモンソウ ツルニンジン



- 案内所
- 山小屋
- トイレ
- 駐車場
- 案内板
- 花のポイント
- 森林セラピーロード
- その他の遊歩道
- 中部北陸自然歩道
- 北国街道
- 市営バス停留所
- 笹ヶ峰直行バス停留所
- ミズバショウ
- 巨大
- 水場
- 神社
- 樹木のポイント
- 温泉

この地図の作成に当たっては、国土院の提供した地形データ、および妙高市の提供したデータに基づき作成されています。無断複製を禁じます。 株式会社第一印刷所 長野市中央区和光2丁目1番16号 TEL (026) 382-7400(代)

令和4年度 入域料特別会計予算(案)

1. 歳入

(単位:円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1	負担金	1 負担金	132,440	72,000	60,440	市から負担金
2	協力金	1 協力金	4,400,000	3,500,000	900,000	@500円×8,800名
3	繰越金	1 繰越金	3,442,691	3,379,291	63,400	前年度からの繰越金
4	諸収入	1 諸収入	24,869	100,709	△75,840	携帯トイレ売上、預金利息等
合計			8,000,000	7,052,000	948,000	

2. 歳出

(単位:円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1	1	会議費	132,440	120,000	12,440	委員謝金、費用弁償
	2	事務費	150,000	150,000	0	収受に係る消耗品等
	3	広告費	200,000	200,000	0	告知チラシ等
2	1	事業費	4,920,000	4,606,000	314,000	ライチョウ保護対策事業費 1,500,000円
						登山道整備事業 2,000,000円
						収受員賃金 400,000円
						燕管理費 60,000円
						協力者記念品(@100円×9,000個) 900,000
						携帯トイレ購入(@250円×200個) 50,000
						事前決済手数料 10,000
	2	繰越 事業費	2,500,000	1,900,000	600,000	次年度ライチョウ保護対策事業及び 登山道整備事業等へ充当
3	1	予備費	97,560	76,000	21,560	
合計			8,000,000	7,052,000	948,000	

令和4年度 入域料部会委員名簿

R4.4.22現在

	委員枠	所属	氏名	役職	出欠	備考
1	学識経験者	東京農工大学 名誉教授	土屋 俊幸	部会長	会場	
2	学識経験者	新潟ライチョウ研究会 代表	長野 康之		会場	
3	自然環境保全 団体	新潟県生態研究会 会長	松井 浩		会場	
4	観光事業者	妙高ツーリズムマネジメント 事務局長	関原 一義		WEB	
5	山岳ガイド	インフィールド 代表	中野 豊和		会場	
6	林野庁	関東森林管理局 上越森林管理署 署長	田中 直哉		WEB	
7	新潟県	環境局 環境対策課 自然共生室 室長	星野 航		WEB	
9	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 課長	岸 秀蔵		会場	
10	環境省	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	関 貴史		会場	
11	妙高市	観光商工課 課長	城戸 陽二		会場	代理: 課長補佐 宮下 孝
12	妙高市	環境生活課 課長	岩澤 正明		会場	